

2019年1月4日

## WFun マスターライセンス契約締結およびサービス提供開始について

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、藤野善久氏（産業医科大学 産業生態科学研究所環境疫学研究室 教授）と、労働機能障害評価プログラム「WFun<sup>(\*)</sup>」に関するマスターライセンス契約を10月1日に締結しました。本契約締結に基づき、SOMPOヘルスサポートでは2019年1月から当プログラムを活用した各種サービスの提供を開始します。

\*1 WFun：健康問題による労働機能障害の程度を測定するための調査票（Work Functioning Impairment Scale）。詳細は2. (1)特長をご参考ください。

### 1. 背景

近年、企業の重要な経営課題の一つとして「健康経営<sup>(\*)</sup>」が位置づけられ、健康に関する施策等を実践する企業が年々増加しています。また、平成27年度健康経営度調査の結果によると、企業の7割以上が従業員の生産性の向上を健康経営に取り組む目的として掲げております。

こうした背景を踏まえ、SOMPOヘルスサポートは、産業医科大学 産業生態科学研究所環境疫学研究室 教授 藤野善久氏と「WFun」に関するマスターライセンス契約を締結しました。2019年1月より「WFun」の販売を開始し、調査結果に基づくコンサルティングおよびソリューションサービスを併せて提供します。

なお、「WFun」は健康経営度調査において求められているプレゼンティーズム<sup>(\*)</sup> 検証のための測定推奨ツールとして、経済産業省が策定している「企業の健康経営ガイドブック」にも掲載されています。

\*2 健康経営：従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されている。（「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です）

\*3 プレゼンティーズム：何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、何らかの体調不良があるまま働いている状態

### 2. WFunの特徴、および各種サービスの内容

従業員個々の体調により生じている仕事の困り度を労働機能障害の程度として測定し、個人・会社・事業場単位毎の分析データなどを提供することで、従業員個人への健康指導業務や、職場環境改善などに活用することができます。また分析結果に基づく各種ソリューションサービスも提供します。

(1) 特徴

- ・ 調査票は簡易な7つの質問のみで構成され短時間で回答することができます。
- ・ 「労働機能障害の程度」(お仕事のお困り度)を測定し、点数として評価します。
- ・ 質問項目に医療情報は含まれないため、専門職ではない職場の担当者でも取り扱いやすい内容です。
- ・ 評価は性別、年齢、職種などに影響されないため、部署や会社間の比較が可能です。

(2) 主なサービス内容

- ① アンケート調査の実施(個人、および集団分析結果の提供)
- ② ストレスチェック同時実施による課題抽出と報告会の開催
- ③ WFunを活用した健康経営銘柄・健康経営優良法人認定取得支援
- ④ 従業員に対する専門職による健康支援
- ⑤ ヘルスリテラシー向上のための各種研修
- ⑥ 健康経営全般に対するコンサルテーション

3. 今後の展開

SOMP Oヘルスサポートは、2011年1月よりプレゼンティーズムの測定を可能にする我が国初のアセスメント・プログラム「WLQ-J」を提供しています。これに加え「WFun」を提供することで、より多様なデータから健康と労働生産性の関係性に関する科学的かつ多角的な分析が可能となります。

今後は各企業における人事・産業保健の支援のみならず、健康と労働生産性におけるリーディングカンパニーとして、健康経営全体の発展に寄与してまいります。

以上